

NEW 職員紹介



山田 久美 (やまだ くみ)

阿仁から来ました山田久美です。仕事を覚えることに時間がかかると思いますが、一生懸命頑張りたいと思います。勉強不足でご迷惑をお掛けしますがご指導よろしくお願ひします。



庄司 彩香 (しょうじ さやか)

特別養護老人ホーム森泉荘からもりよし荘の通所リハビリテーションへ異動して来ました庄司彩香です。通所では初めて働きますので慣れないことも多いかと思いますが、ご利用者様が来て良かったと思っただけのよう心を込めて働かせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

4月からもりよし荘で働く新しい職員を紹介します！



金沢 幸輝 (かねざわ こうき)

障害者支援施設森幸園から異動して来ました金沢幸輝と申します。高齢者施設は初めてなので、先輩職員の方から介護技術を学び、安全で安心な介護が出来るよう努めたいと思います。宜しくお願い致します。

寄付・善意

- 24時間テレビチャリティー委員会 様
- 医療法人 和成会 様
- 赤石 良子 様 長田 幸子 様
- 疋田 伸一 様 佐藤 清憲 様
- 木村 良子 様 庄司 隆征 様
- 栗原 保幸 様

居宅だより

もりよし荘居宅介護支援事業所の庄司です。

令和3年度は3年に一度の介護報酬改定がありました。この改定は3年間の介護保険事業の実態を見て調整されており、ご利用者様の各種サービスの負担額が変動するのはこのためです。今回の改定ではご利用者様の負担額で見ると値上がり調整でありました。主な内容として現在急速に発展している情報技術の活用を推進する内容となっております。皮肉にも世間を騒がせている新型コロナウイルスによってリモートワークを始めとした情報技術の活用が進歩したと言えるでしょう。

もりよし荘でオンライン面会している様子をたまに見ますが画面越しの笑顔に微笑ましくなります。

【もりよし荘居宅介護支援事業所】 庄司信子 Tel: 0186-72-5033



クリーンアップで春を見つけました



編集後記

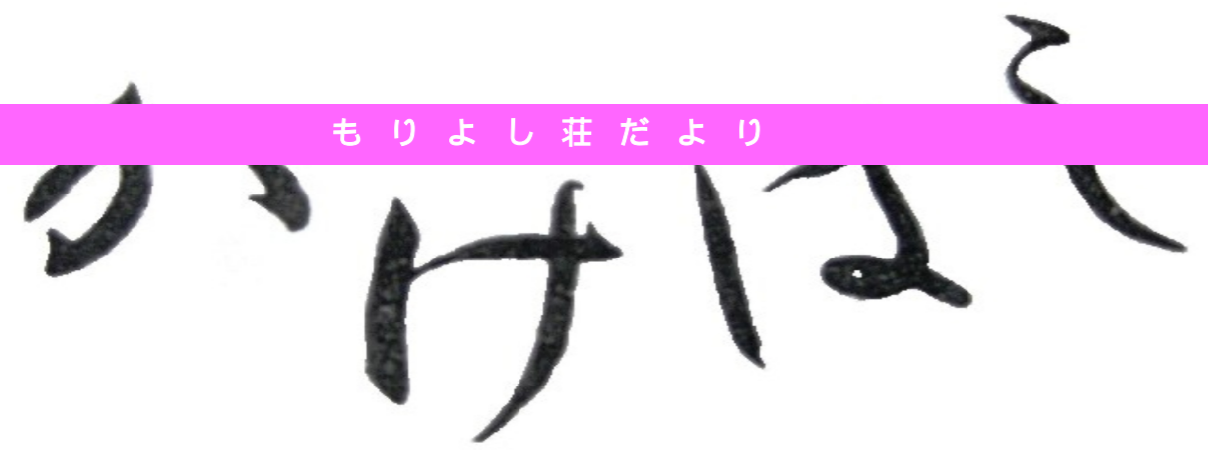
今年はコロナウイルスの猛威や暴風雪があったり東日本大震災の余震の地震があったりと少し落ち着かない冬でした。

昨年は本当に試練の年となりました。新型コロナウイルスの世界的な流行で日本でも一度は収束しかけたものの第2波・第3波と以前脅威はなくなっていました。緊急事態宣言が発表されても解除後は再び次の波を繰り返している現状です。辛い時がまだ続きますが心を強く持ち我慢の時を過ごしたいと思ひます。

今年はこのままコロナウイルスが落ち着き、ワクチン接種もすすめば延期したオンラインピックが開催されるでしょう。若い世代の活躍を思いっきり応援したいものです。私たちもりよし荘の広報も今年こそは明るい話題であふれることを切に願っております。

(K・T)

もりよし荘だより



編集・発行 〒018-4301 秋田県北秋田市米内沢字七曲25番地 (社会福祉法人 交楽会) 介護老人保健施設 もりよし荘 TEL.0186-72-5030 FAX.0186-72-5017 http://www.aki-ta-kouraku.jp/

NO. 21

令和3年4月30日



さくら眺めて独り言 賑やか花見はまたこんど...

# 待ちわびたクリスマス

## ～サンタからのプレゼント～



職員サンタからプレゼントをもらう利用者

12月クリスマス会が行われた。感染予防のため、全体的なクリスマス会は行わず、各ユニットで趣向を凝らしたクリスマス会が行われた。

ばかりで貰ったの初めてだが、など各々の感想を述べた。クリスマスを楽しまれている様子であった。

サンタに扮した職員が登場し利用者の皆さんにプレゼントを配ったり、クリスマスにちなんだ歌を皆で合唱したりされていた。「こんないいものもらってあげてえな」「小さい童に戻ったみたいだな」「あけて



クリスマスツリーと記念撮影

# 桜に見惚れ

もりよし荘の桜が今年も見事な花を咲かせた。満開の期間は天気に恵まれ、利用者の皆さんは待つてましたと靴を履き替える。「見事だ！」と感想を述べる方からしみじみと見つめる方まで各々の楽しみ方で桜を満喫した。世間の陰鬱とした空気を忘れさせてくれる咲きっぷりであった。



素敵なお花束に笑顔(上)

見事な桜にうっとり(左上)

職員も思わずにんまり(左)



# 桃の節句を満喫

懐かしき思い出のひな祭り。春の訪れを待ち望み雛人形が飾られた。毎年玄関前にひな壇と2階にはガラスケースに入ったひな壇が飾られる。

利用者の皆さんはひな壇が飾られると「やっぱいいいな」「玄関が華やかになっているいいね」と代わる代わる見学や記念撮影をされていた。

ひな祭り当日には各ユニットや通所では趣向を凝らしたお菓子や催しが行われた。今年は特別に厨房お手製の甘酒がふるまわれた。ひな壇を眺めながらひなあられを食べていた。利用者それぞれひな祭りへの思いを口にしていた。「女の子や孫がいなかったから、ひな壇を飾ることがなかった。



ひな壇とおやつ

た。「自分が子供のころはなかった。」と昔話に花を咲かせていた。



雛飾りと記念撮影

# 邪気を祓う

## 豆にこめた願い

2月2日にもりよし荘での毎年の恒例行事となっている節分の行事が行われた。節分とは季節の節目である。「立春、立夏、立秋、立冬の前日」のことをいい、年に4回ある。ところが、旧暦では春から新しい年が始まったため、立春の前日の節分(2月3日頃)は、大晦日に相当する大事な日だった。そこで、立春の前



職員扮する鬼が利用者に忍びよる

日の節分が重要視され、節分といえはこの日をさすようになったとされている。昔は、季節の分かれ目、特に年の分かれ目には邪気が入りやすいと考えられており、さまざまな邪気払いの行事が行われてた。おなじみの豆まきも、新年を迎えるための邪気払い行事だ。各ユニットで職員が趣向を凝らし、節分の行事を演出していた。職員が扮する鬼や手製の的に向かって豆を投げ「それ、鬼は外！福は内！」と、自らの邪気を払い、無病息災を願った。「これでコロナもおっかなくねえな」「今年はコロナがなくたっていい年になればいいな」と、笑顔で節分の行事を祝っていた。

# みんなで掛け声

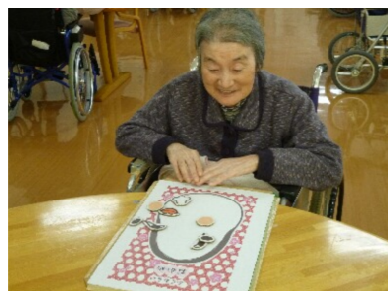


力いっぱい職員と声援を送る利用者

12月28日、もりよし荘でもちつき会が開かれ、昔ながらに臼ときねを使ってついた餅を鏡餅にして飾った。施設では一年の最後を締めくくる恒例行事で多くの利用者がホールに集まった。見学している利用者から職員に向けて大きな声で「よいしょ」「もつと腰を入れて」と声援が送られた。例年の行事で慣れた手つきの職員が掛け声に応えてきねを一生懸命ついていた。

# 謹賀新年

初日の出と共に新年を迎えた1月1日、もりよし荘の各ユニットで、特色のあ



福笑いを楽しむ利用者

る「新年会」が行われた。職員が用意した手作りの獅子舞が登場したり、福笑いを楽しんだり、書き初めを真剣な表情で書いたりした。利用者の皆さんそれぞれが

新しい1年の始まりに思いを馳せながら「今年はいいい年になってほしいな」「書き初めをするのが引き締まる思いだ」などと語り合っていた。



真剣な表情での書初め



獅子舞の登場に少し驚く